

KENWOOD

コンパクトハイファイシステム

XK-330

取扱説明書 保証書付

お買い上げありがとうございます。
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に別紙の「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。
そのあと本書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

・ もくじは2 ページにあります。




MP3/WMA
WAV/FLAC



株式会社 JVCケンウッド

JVCKENWOOD Corporation


ユーザー登録
のすすめ

カスタマーサポートの向上のため、ユーザー登録（My-Kenwood）をお願いしています。ご登録いただけますと製品のサポート情報、製品情報やイベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。また、今後のよりよい製品開発のためのアンケートにもご協力をお願いいたします。

●下記アドレスのホームページより、ご登録ください。

<https://jp.my-kenwood.com>



もくじ

はじめに	3	ラジオを聴く	26
本機を楽しむには	3	放送局を受信する	26
本機を設置するときは	4	受信状態を改善する(アンテナ調整)	27
準備する	5	放送局を記憶させる(プリセット)	28
付属品を確認する	5	外部機器を聴く	29
リモコンを準備する	5	外部機器を接続する	29
各部の名称	6	外部機器を聴く	29
リモコン	6	タイマーを使う	30
本体前面	7	再生タイマーを設定する	30
本体背面	8	再生タイマーを確認/解除/再設定する	31
表示部	9	スリープタイマーを設定する	32
接続する	10	音質や表示の設定を変える	33
スピーカーを接続する	10	好みの音質に設定する	33
AM アンテナを接続する	11	重低音を強める	33
FM アンテナを接続する	12	音質設定をリセットする	33
電源コードを接続する	13	表示される情報を変える	33
ヘッドホンを接続する	13	その他の情報	34
基本操作	14	オートパワーセーブ(節電機能)について	34
電源を入れる/切る	14	使用できる BLUETOOTH 機器	34
スタンバイモードを切り換える	14	再生できる CD とファイル	34
時計を合わせる	14	CD-R / CD-RW のご注意	35
いろいろなソース(音源)を聴く	15	USB メモリーのご注意	35
表示部の明るさを変える	15	MP3 / WMA / WAV / FLAC ファイルのご注意 ..	36
BLUETOOTH 機器を聴く	16	ファイルの再生順について	37
NFC について	16	お手入れについて	37
NFC で BLUETOOTH 機器を接続する	16	商標	37
手で BLUETOOTH 機器を接続する	17	故障かな?と思ったら	38
BLUETOOTH 機器の基本操作	18	主な仕様	40
接続を解除する	18	保証とアフターサービス	42
電波について	19	無料修理規定	43
CD / USB メモリーを聴く	20		
CD / USB メモリーを準備する	20		
CD / USB メモリーの基本操作	20		
プログラム再生をする	22		
リピート再生をする	24		
ランダム再生をする	24		
CD トレイをロックする	25		

はじめに

本機を楽しむには

音声を楽しむために準備しましょう

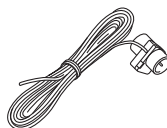
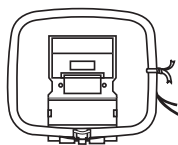
スピーカーと接続しましょう (p. 10)



ラジオを聴きたい方は、アンテナを接続しましょう

AM アンテナを組み立てて接続する (p. 11)

FM アンテナを接続する (p. 12)



お知らせ

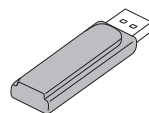
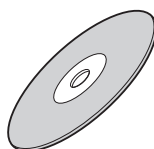
- AM アンテナと FM アンテナは本機に付属しています。
- AM アンテナは組み立ててから、本機に接続します。

いろいろなソース(音源)を聴きましょう

BLUETOOTH 機器 (p. 16)

CD (p. 20)

USB メモリー (p. 20)



ラジオ (p. 26)

デジタルオーディオプレーヤー
などの外部機器 (p. 29)



本書のボタン表記について

- 本書では、特に表記のないボタンはリモコンのボタンを示しています。本体のボタンと同じマークがある場合には、本体のボタンもお使いいただけます。
- この取扱説明書のディスプレイ表示は実際のディスプレイ表示とは異なる場合があります。

本書のその他の表記について

- 本書の説明で「iPod」と表記しているときは、iPod、iPod touch、iPhone を含みます。iPod touch、iPhone を指すときは、「iPod touch」、「iPhone」と表記します。
- 本書の説明で「Android 端末」と表記しているときは、Android OS を搭載したスマートフォンやタブレット端末などを含みます。
- 本書では、MP3 / WMA / WAV / FLAC の説明をする場合、「ファイル」と「トラック」と「曲」は同じ意味で使っています。

本機のボタン操作についてのご注意

本機のボタンの押し方には、2通りあります。

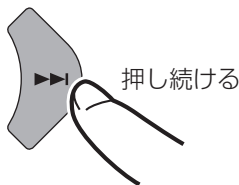
ボタンを短めに押す:

ボタンを軽く短めに「ポン」と押して、早めに指を離してください。強く押し過ぎたり、ゆっくり押すと本機が反応しない場合があります。そのような場合は、押す時間や力を調整して数回試してみてください。



ボタンを長めに押す:

ボタンを長めに押し続け、目的の動作が実行された後に、指を離してください。



この製品の機種銘板は本体の背面にあります。

レーザー製品についてのご注意

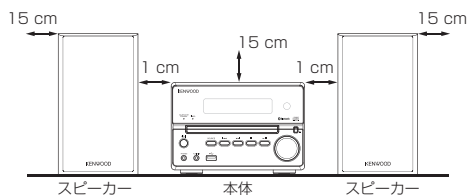
1. この製品は JIS C6802 規格に基づくクラス 1 レーザー製品です。
2. 注意: 機器内部には、危険なレーザー放射部があります。分解、改造はしないでください。

本機を設置するときは

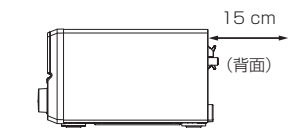
本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- おお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロス、新聞、カーテン、毛布などで通風孔をふさがない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 機器の各面から、図に示すスペースを空けてください。

正面



側面



ご注意

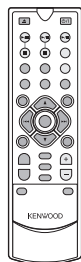
- 本機の使用環境温度は、5°C～35°Cです。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。

準備する

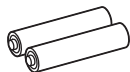
付属品を確認する

お使いになる前にお確かめください。

リモコン (1個)
RC-F0519



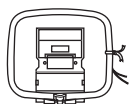
リモコン用単4形乾電池 (2本)



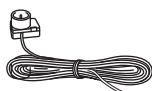
スピーカーコード
(1.5m、2本)



AMループアンテナ (1個)



FM簡易型アンテナ (1本)

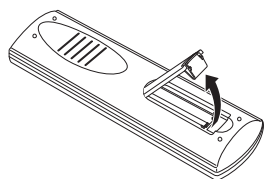


リモコンを準備する

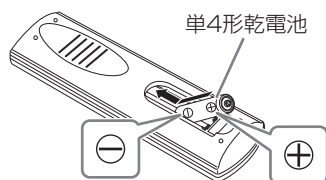
電池を入れる

電池の ⊕ と ⊖ の向きを正しく入れてください。

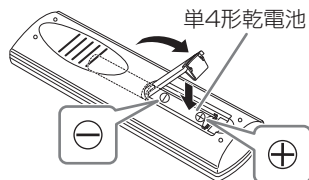
1 リモコン背面のカバーを開ける



2 1本目の電池を入れる



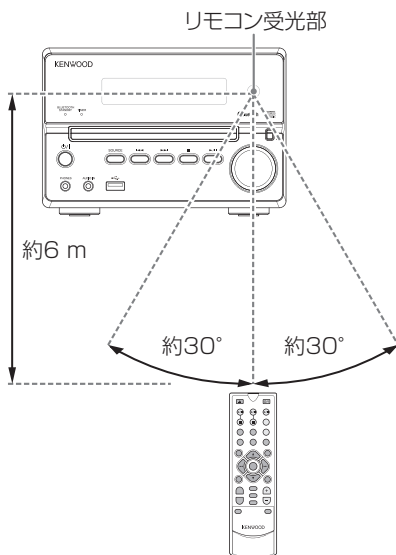
3 2本目の電池を入れて、カバーを閉める



ご注意

- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- 乾電池は、「安全上のご注意」(別紙)をお読みの上、正しくお取り扱いください。
- 使用済みの電池は、絶縁テープなどを貼って絶縁し、所在自治体の指示に従って廃棄してください。
- 落としたりぶつけたりなど、リモコンに強い衝撃を与えないでください。

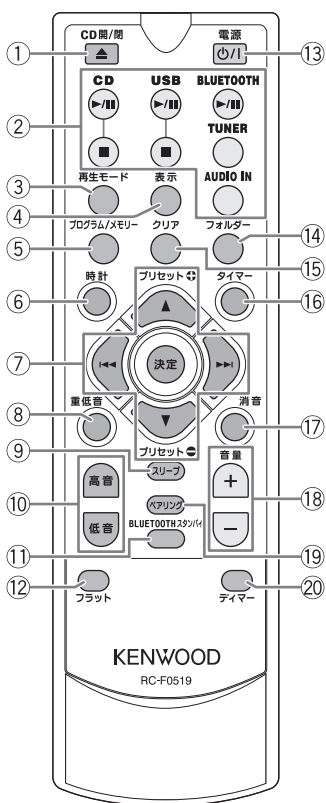
操作のしかた



- リモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。
- リモコンと本体の距離が近すぎると操作できません。
- 本体のリモコン受光部に、直射日光などの強い光が当たると、正しく動作しないことがあります。誤動作を避けるために、設置場所を変えてください。

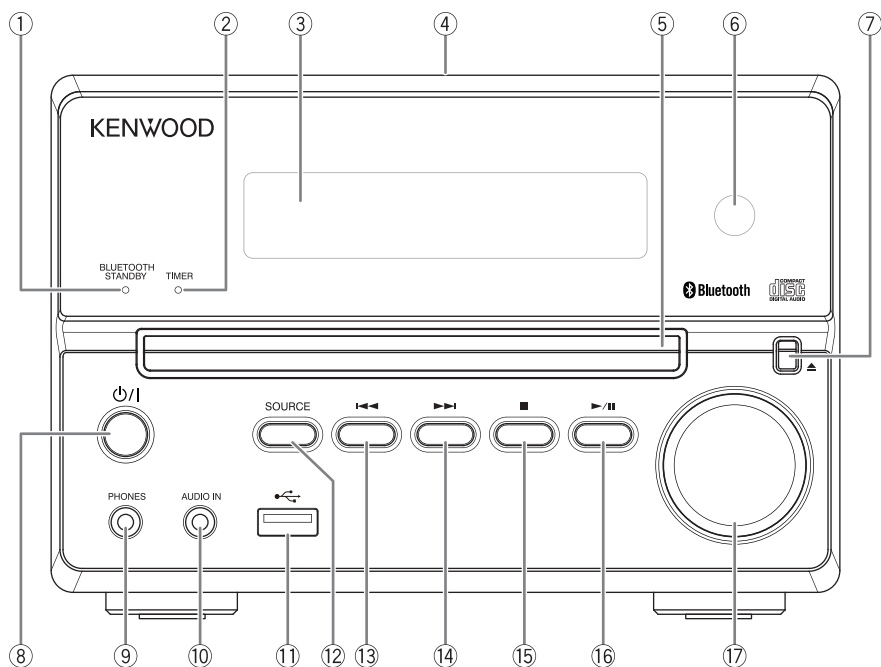
各部の名称

リモコン



- | | |
|-------------------------|---------------|
| ① ▲(CD 開/閉)ボタン | ⑬ 〇/I (電源)ボタン |
| ② ソース(音源)切換、▶/III、■ ボタン | ⑭ フォルダーボタン |
| ③ 再生モードボタン | ⑮ クリアボタン |
| ④ 表示ボタン | ⑯ タイマーボタン |
| ⑤ プログラム/メモリーボタン | ⑰ 消音ボタン |
| ⑥ 時計ボタン | ⑱ +/- (音量)ボタン |
| ⑦ ◀◀/▶▶/▲/▼/決定ボタン | ⑲ ペアリングボタン |
| ⑧ 重低音ボタン | ⑳ ディマーボタン |
| ⑨ スリープボタン | |
| ⑩ 高音 / 低音ボタン | |
| ⑪ BLUETOOTH スタンバイボタン | |
| ⑫ フラットボタン | |

本体前面

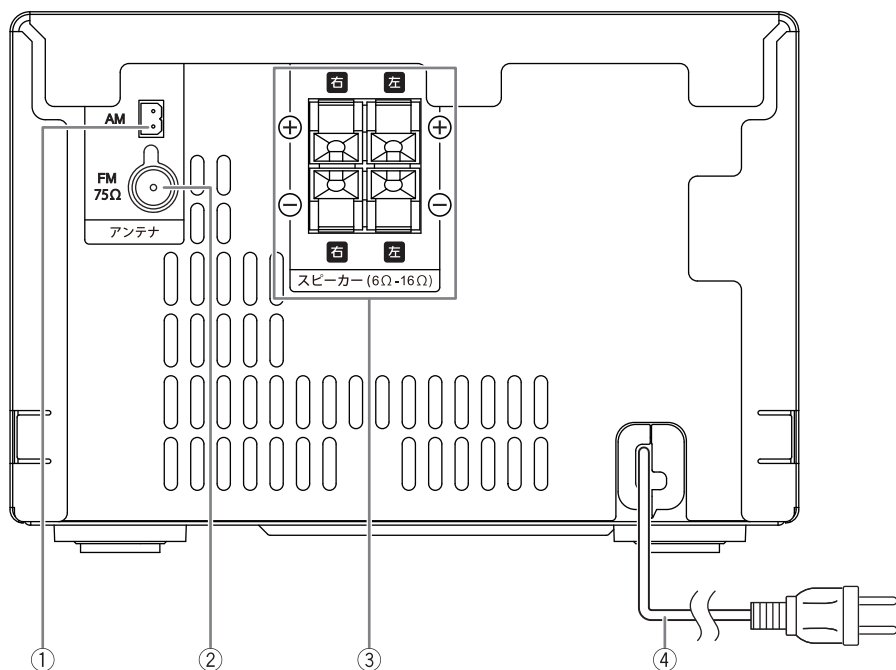


- | | |
|--|-----------------------------|
| ① BLUETOOTH STANDBY インジケータ | ⑧ 電源(電源)ボタン |
| BLUETOOTH スタンバイ時に、青色に点灯します。
このとき、表示部は消灯します。 | ⑨ PHONES 端子(ヘッドホン端子) |
| ② TIMER インジケータ | ⑩ AUDIO IN 端子 |
| 再生タイマーが設定されているときに、オレンジ色に
点灯します。
(ノーマルスタンバイ、BLUETOOTH スタンバイ時) | ⑪ USB 端子 |
| ③ 表示部 | ⑫ SOURCE ボタン |
| ④ N マーク(NFC アンテナ) | ⑬ ◀▶ ボタン |
| ⑤ CD トレイ | ⑭ ▶▶▶ ボタン |
| ⑥ リモコン受光部 | ⑮ ■(停止)ボタン |
| ⑦ ▲(CD トレイ開閉)ボタン | ⑯ ▶ (再生/一時停止)ボタン |
| | ⑰ 音量つまみ |

お知らせ

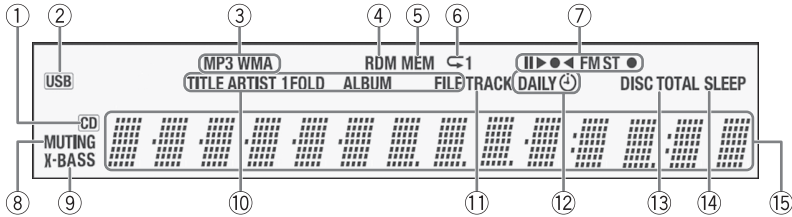
- 電源が切れているとき(スタンバイ状態)でも、少量の電力を消費します。

本体背面



- ① AM ループアンテナ端子
- ② FM 75Ω 端子
- ③ スピーカー(6Ω・16Ω)端子
- ④ 電源コード

表示部



- ① **CD アイコン**
ソース(音源)を「CD」にすると、点灯します。
- ② **USB アイコン**
ソース(音源)を「USB」にすると、点灯します。
- ③ **オーディオファイルの種類**
再生しているオーディオファイルの種類(MP3/WMA)に応じて点灯します。
- ④ **RDM アイコン**
ソース(音源)が「USB」または「CD」のとき、ランダム再生中に点灯します。
- ⑤ **MEM アイコン**
ソース(音源)が「USB」または「CD」のとき、プログラム再生中に点灯します。
- ⑥ **リピートモードアイコン**
ソース(音源)が「USB」または「CD」のとき、リピート再生中に点灯します。
- ⑦ **再生状態アイコン/ラジオ放送受信表示/BLUETOOTH 受信表示**
ソース(音源)の再生状態、ラジオ放送やBLUETOOTH の受信状態などを表示します。
- ⑧ **MUTING アイコン**
消音中に点灯します。
- ⑨ **X-BASS アイコン**
重低音を設定すると、点灯します。
- ⑩ **ファイル情報**
再生しているオーディオファイルの情報が表示されます。
- ⑪ **TRACK アイコン**
トラックを表示しているときに点灯します。
- ⑫ **タイマーアイコン**
再生タイマーを設定すると、点灯します。
- ⑬ **DISC TOTAL アイコン**
音楽 CD の全体の再生時間を表示しているときに点灯します。
- ⑭ **SLEEP アイコン**
スリープタイマーを設定すると、点灯します。
- ⑮ **テキスト表示**
各ソース(音源)の情報を表示します。

接続する

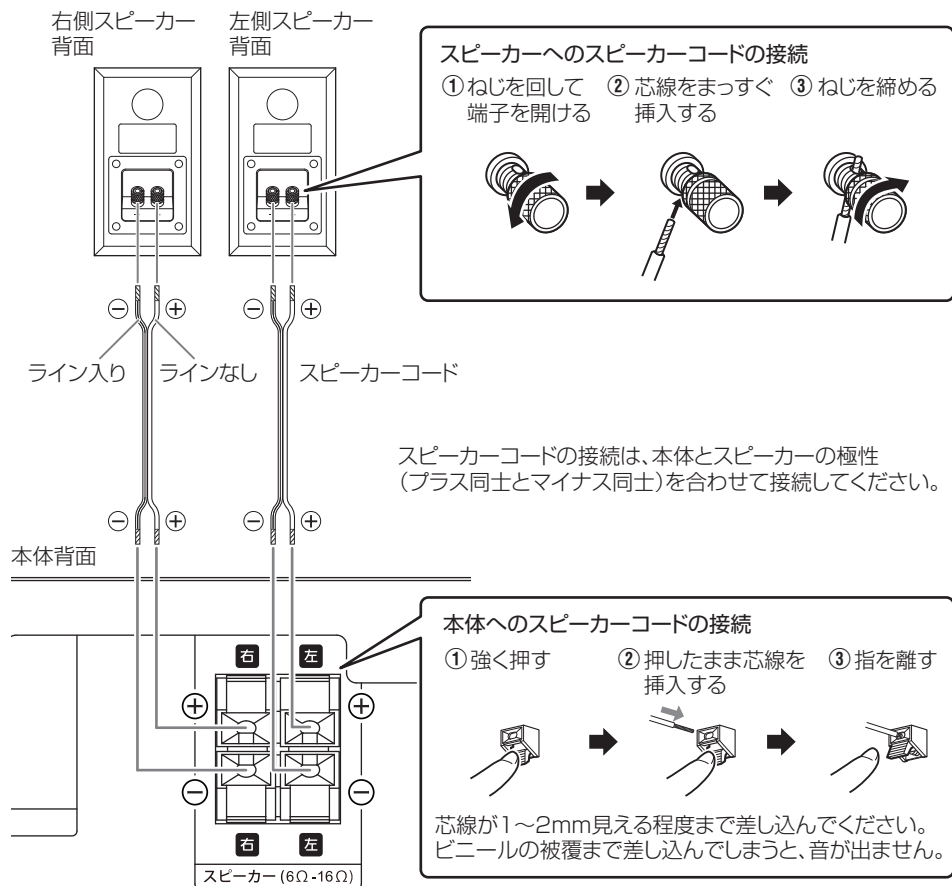
ご注意

- すべての接続が終わってから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- 接続したコード、ケーブル類を抜くときは、事前に必ず本体の電源をオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。

スピーカーを接続する

ご注意

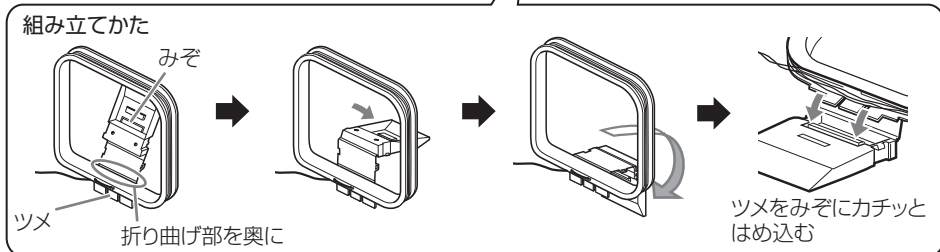
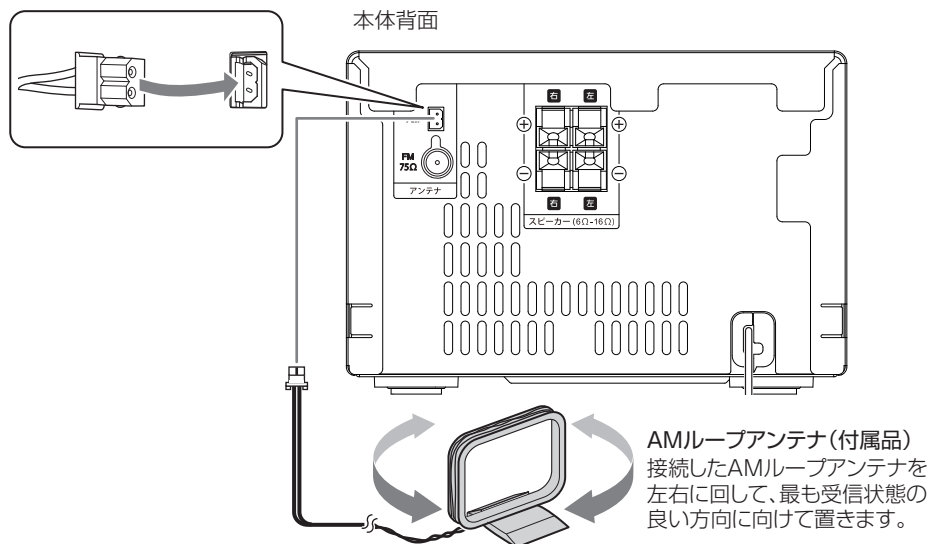
- 付属のスピーカー以外は接続しないでください。
- 他のスピーカーを使用すると故障の原因となることがあります。



スピーカーの接続についてのご注意

- 1つの端子に2つ以上のスピーカーを接続しないでください。
- スピーカーコードの接続を間違えると、故障の原因となりますので、図のとおり正しく接続してください。

AM アンテナを接続する



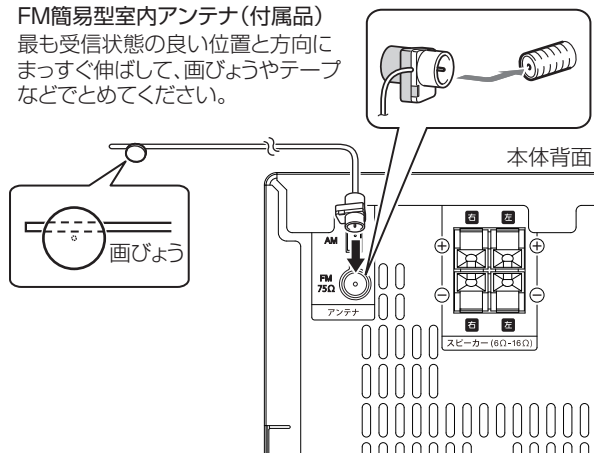
AM ループアンテナについてのご注意

- ラジオを聴く前に、必ずアンテナを接続してください。
- AM ループアンテナは、アンテナ線が枠に巻かれた状態のままお使いください。枠からはずすとアンテナの効果なくなり、感度が悪くなります。
- アンテナの導線部分が他の端子やケーブルに触れないようにご注意ください。また、受信の妨げになる場合があるため、ループアンテナは電気製品(本機を含む)や、他のケーブルから出来だけ離して設置してください。
- アンテナは、一般的に窓の近くに設置するほうが良好に受信できます。

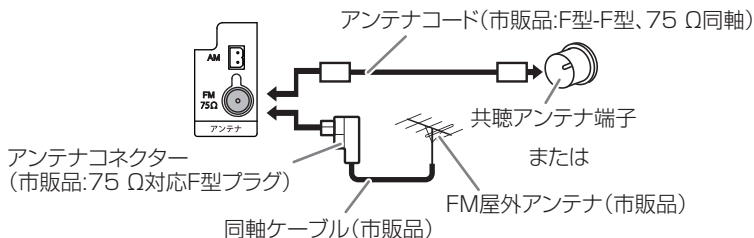
FM アンテナを接続する

FM アンテナの接続

FM簡易型室内アンテナ(付属品)
最も受信状態の良い位置と方向に
まっすぐ伸ばして、画びょうやテープ
などでとめてください。



マンションなどの壁の共聴アンテナ端子または FM 屋外アンテナを使うとき



- ・ 付属品以外のアンテナを接続する際の詳細については、アンテナおよびアンテナコネクタの取扱説明書を参照してください。
- ・ 実際の放送を聴きながら、アンテナの設置場所を決めてください。

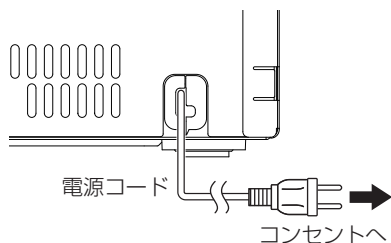
ご注意

- ・ アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因になることがあります。
- ・ アンテナの導線部分が他の端子やケーブルに触れないようにご注意ください。また、アンテナを他のケーブルから離してください。受信の妨げになることがあります。
- ・ ケーブルテレビ会社と契約しているマンションの共聴アンテナ端子に本機の FM 端子を接続している場合は、FM 放送局の周波数が通常と異なることがあります。詳細は、ご契約のケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

電源コードを接続する

電源コードのプラグをコンセントへ差し込んでください。

本機背面



お知らせ

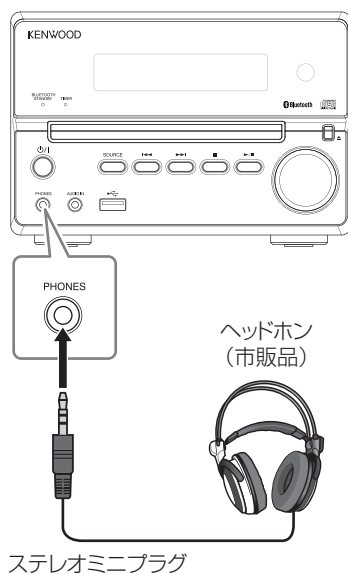
- コンセントの奥まで確実に差し込んでください。
- 出かけるときや長期間使用しないときは、電源コードをコンセントから抜いてください。

ヘッドホンを接続する

ヘッドホンを装着する前や、ヘッドホンのプラグを抜き差しする前に、音量を最小にしておいてください。

お知らせ

- ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音が出なくなります。
- 市販の3極タイプ・ステレオミニプラグのヘッドホンをお使いください。



基本操作

電源を入れる／切る

リモコン

電源



本体

電源



お知らせ

- 各ソース(音源)ボタンを押して電源を入れることもできます。

スタンバイモードを切り換える

本機では、2種類のスタンバイモードを設定できます。
本機の電源が切れているとき(スタンバイ中)に

BLUETOOTHスタンバイ



(くり返し押す)

- BLUETOOTHスタンバイモード:
BLUETOOTH STANDBY インジケーターが青色に点灯し、表示部が消灯します。
本機の電源が切れているときでも、BLUETOOTH機器と接続できます。
- ノーマルスタンバイモード:
BLUETOOTH STANDBY インジケーターが消灯し、表示部が消灯します。
節電状態になります。本機の電源が切れているときは、BLUETOOTH機器と接続できません。

時計を合わせる

1 時計設定表示にする

時計



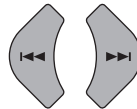
☀Sun☀ ☀0:00☀

2 時計設定を開始する

決定



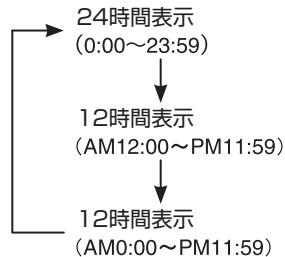
3 「曜日」を合わせる



決定

(くり返し押す)

4 手順3と同じ操作で、24時間表示または12時間表示を選ぶ



5 手順3と同じ操作で、「時」を合わせる

6 手順3と同じ操作で、「分」を合わせる

お知らせ

- 時計を合わせた後に、「時計」ボタンを押すと、現在の時刻が10秒間表示されます。
- 本機の時計は月に1、2分程度のズレが生じる場合があります。定期的に時計を合わせ直すことをおすすめします。
- 電源を抜いたり、停電で電源が切れたりした場合は、時計を合わせ直してください。

いろいろなソース(音源)を聴く

1 ソース(音源)を選ぶ

リモコン



本体

SOURCE



(くり返し押す)

2 音量を調節する

リモコン

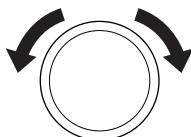
音量



(くり返し押す)

- 調節範囲: 0 (Min) ~ 31 (Max)
- リモコンの[+/- (音量)]ボタンを押し続けると、連続して変わります。

本体



(回す)

一時的に消音する

消音



「MUTING」アイコンが点灯します。

お知らせ

- もう一度押すか、音量を調節すると、消音解除されます。
- ソース(音源)を切り換えると、消音解除されます。

表示部の明るさを変える



ディマー

(くり返し押す)

押すたびに表示部の明るさが切り換わります。



お知らせ

- お買い上げ時の設定は、「Dimmer Off」です。
- 設定は電源を切っても記憶されます。

BLUETOOTH 機器を聴く

お手持ちのスマートフォンやポータブルプレーヤーなどの BLUETOOTH 機器の音を本機で聴くことができます。

初めて接続するときは、NFC または手動のどちらかで、BLUETOOTH 機器と本機をペアリング(登録)してください。

NFC について

NFC とは、近距離無線通信を行う技術です。お使いの BLUETOOTH 機器が NFC に対応している場合は、本機にタッチするだけで、かんたんに BLUETOOTH 接続ができます。

お使いの機器が NFC による BLUETOOTH 接続に対応していない場合や、対応状況がご不明な場合は、手動で接続してください。(p. 17)

Android 機器(スマートフォンなど)の NFC の有無を確認する

スマートフォンの「設定」から「その他の設定」をタップし、NFC 設定があることを確認してください。

ご注意

- お使いの BLUETOOTH 機器によって、画面に表示されるメニュー項目は異なります。
- Android 機器では、NFC 対応のほか OS が Android 4.1 以降である必要があります。お使いの機器をご確認ください。
- おサイフケータイなどの機能に影響する場合がありますので、ご利用の NFC 決済アプリのホームページなどをご確認ください。

NFC で BLUETOOTH 機器を接続する

電源オンまたは BLUETOOTH スタンバイの状態から、本機と BLUETOOTH 機器(以下、相手機器)を接続してください。

1 相手機器の電源を入れ、NFC を有効にする

相手機器によって、画面に表示されるメニュー項目は異なります。詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

Android 機器(スマートフォンなど)の操作例

- ① 「設定」▶「その他の設定」をタップする
- ② NFC 設定 ▶「Reader/Writer,P2P」をオンにする

2 相手機器の NFC アンテナ部分を本機の N マークにタッチする

- 近づけるだけでは作動しません。マークにタッチしてください。相手機器によっては、わずかなズレでも通信できず、ペアリングおよび接続ができないことがあります。
- スマートフォンの画面に「BLUETOOTH 接続しますか?」などの表示が出た場合は、「はい」をタップしてください。



本機と相手機器がペアリング(登録)されます。接続が完了すると、「Connected」と表示され、▶●◀アイコンが点灯します。

3 相手機器を再生する

あらかじめ、相手機器の音楽再生アプリを立ち上げておいてください。



- 自動的に再生が始まる場合もあります。
- 再生が始まらない場合は、相手機器側で再生してください。

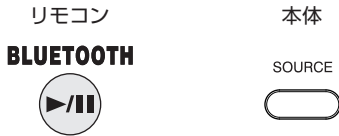
お知らせ

- 接続が完了したら、相手機器を本機から離してください。相手機器を本機にタッチしたままにすると、接続が切れるなど不安定な状態になります。
- NFC でタッチした後に接続が切れる場合は、相手機器側の「Bluetooth」を「オン」にしてください。
- 接続できないときや、本機から音が出ないときは、相手機器で本機のペアリング情報を削除してから、やり直してください。それでも接続できないときは、手動で接続してください。(p. 17)

手動で BLUETOOTH 機器を接続する

本機と BLUETOOTH 機器(以下、相手機器)を初めて接続するときには、以下の方法でペアリングしてください。

1 ソース(音源)を「BLUETOOTH」にする



(くり返し押す)

2 相手機器の電源を入れ、ペアリングができる状態にする

相手機器によって、画面に表示されるメニュー項目は異なります。詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

Android 機器(スマートフォンなど)の操作例

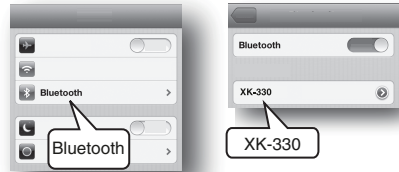
- ① 「設定」→「無線とネットワーク」の順にタップする
- ② 「Bluetooth」にチェックマークがついていない場合は、「Bluetooth」をタップし、チェックマークをつけて、「オン」にする
- ③ 「Bluetooth 設定」→「端末のスキャン」(もしくは同じ意味の項目)の順にタップする

iOS 機器(iPhone/iPad/iPod touch)の操作例

以下のいずれかの手順を参考にしてください。
「設定」→「Bluetooth」の順にタップする
または、
「設定」→「一般」→「Bluetooth」の順にタップする
上記のいずれの場合も、「Bluetooth」がオフになっている場合は、「オン」にする

3 相手機器で「XK-330」を選ぶ

iOS 機器 (iPhone/iPad/iPod touch) の画面例



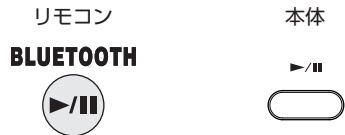
ペアリングが完了し、相手機器と本機が自動的に接続されます。

接続が完了すると、「Connected」と表示され、▶●◀アイコンが点灯します。

- ペアリング中にパスキー(暗証番号)の入力を求められた場合は、「0000」を入力してください。

4 相手機器を再生する

あらかじめ、相手機器の音楽再生アプリを立ち上げておいてください。



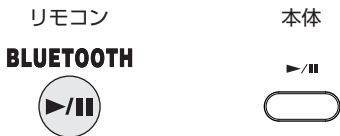
- 自動的に再生が始まる場合もあります。
- 再生が始まらない場合は、相手機器側で再生してください。

お知らせ

- ソース(音源)を BLUETOOTH に切り換えると、本機と最後に接続した相手機器と再接続します。
- 接続できないときや、本機から音が出ないときは、相手機器で本機のペアリング情報を削除してから、やり直してください。
- 相手機器によっては、本機と接続できない場合があります。

BLUETOOTH 機器の基本操作

再生する

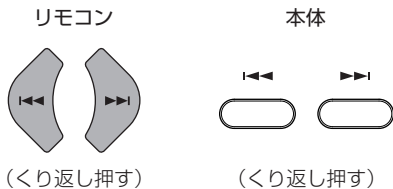


一時停止する



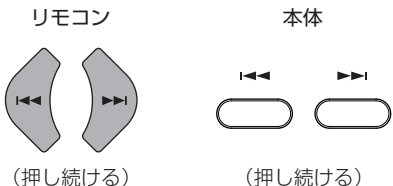
もう一度押すと、一時停止を解除し、再生します。

曲を選ぶ



早戻し／早送りする

再生中に



通常再生に戻すには、ボタンをはなします。

接続を解除する

NFC で解除する場合

現在接続している相手機器の NFC アンテナ部分を本機の N マークにタッチします。

手動で解除する場合

相手機器の BLUETOOTH 接続をオフにします。

お知らせ

以下の場合も自動的に接続が解除されます。

- ・本機または相手機器の電源を切ったとき
- ・他のソース(音源)に切り換えたとき

他の BLUETOOTH 機器を接続する

ペアリング

(押し続ける)

- ・ディスプレイに「Disconnected」が表示されます。
- ・[▶●◀]アイコンが消灯すると、ペアリング待機状態になります。他の BLUETOOTH 機器を接続してください。

ご注意

- ・BLUETOOTH で接続できる距離は、最大 10m です。お使用の環境によっては、これよりも短くなります。
- ・iPhone やスマートフォンを BLUETOOTH 接続した状態では、電話やメールなどの着信音も本機のスピーカーから流れる場合があります。
- ・本機にはマイク機能は搭載されておりません。通話する場合には、本機との接続を解除するか、iPhone/スマートフォンのマイクをお使いください。
- ・BLUETOOTH 機器によっては、本機と接続できない場合があります。
- ・BLUETOOTH 機器によっては、操作(再生、一時停止、早戻し/早送り)ができない場合があります。
- ・本機に iPhone を接続した場合、iPhone で音量を操作すると本機の音量も変わります。また、本機で音量を操作しても iPhone の音量が変わります。

電波について

- 本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けた部品を使用しています。(または、受けた部品を使用しています)。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。

-分解/改造すること

-本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

- 本機は 2.4GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意

本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

- 製品に表示している周波数表示の意味は以下の通りです。

2.4 FH 1

- 2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線機器です。
- FH : FH-SS 変調方式を表します。
- 1 : 電波干渉距離は 10 m です。
- : 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能です。

- 使用可能距離は見通し距離約 10m です。鉄筋コンクリートや金属の壁などをはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。

- 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。

- 2.4GHz の周波数帯域を利用する無線 LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。

- ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CS チューナー、VICS などのアンテナ入力端子を持つ AV 機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。

- 本機は電波を使用しているため、第 3 者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

CD / USB メモリーを聴く

CD / USB メモリーを準備する

CD を聴くとき

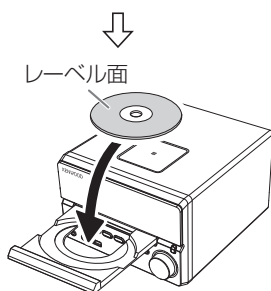
CD を入れる

リモコン

CD 開/閉



本体



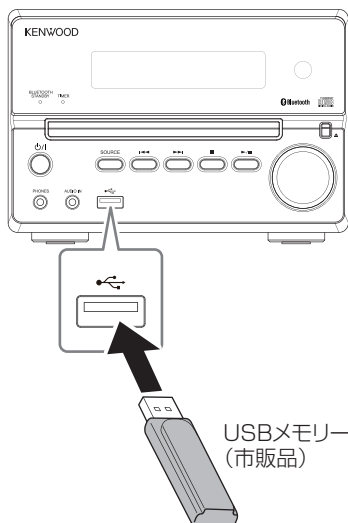
- CD トレイを開めるには、[▲] ボタンを押します。

お知らせ

- 電源が切れているとき(スタンバイ状態)に[▲] ボタンを押すと、電源が入り CD トレイが開きます。

USB メモリーを聴くとき

USB メモリーを接続する



ご注意

- USB メモリーは、電源が切れた状態で取りはずしてください。再生中に取りはずすと、ファイルやファイルシステムが壊れて、USB メモリー内の音楽が再生できなくなる場合があります。
- iPod、iPhone、Android 端末、ソニー製ウォークマンは、USB 接続できません。本機の AUDIO IN 端子に接続してください。(p. 29)
- スマートフォンやポータブルプレーヤーなどを USB 端子に接続しても、充電はできません。

CD / USB メモリーの基本操作

お知らせ

- USB メモリーへの録音はできません。

再生する

リモコン



本体



(くり返し押す)

- ソース(音源)が「CD」のときは「CD」アイコン、「USB」のときは「USB」アイコンが点灯します。
- MP3 ファイルのときは「MP3」アイコン、WMA ファイルのときは「WMA」アイコンが点灯します。
- MP3 / WMA / WAV / FLAC ファイルを再生しているときは、ファイル情報が表示されます。
- 再生するファイルによっては、時間表示が規則的に進まないことがあります。

一時停止する

リモコン



本体



もう一度押すと、一時停止を解除し、再生します。

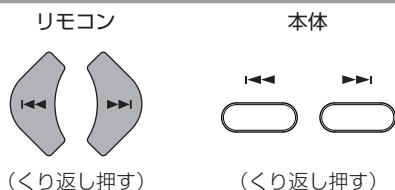
停止する



お知らせ

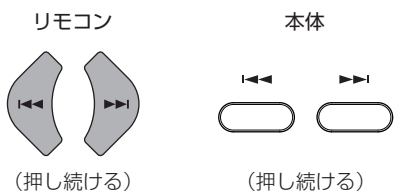
- 音楽 CD の停止中は「DISC TOTAL」アイコンが点灯し、CD の全体の再生時間が表示されます。
- MP3 / WMA / WAV / FLAC ファイルは、停止後再び再生すると、再生していた曲の先頭から再生します (リジューム機能)。停止中にもう一度 [■] ボタンを押すと、リジューム機能は解除されます。

曲を選ぶ



早戻し／早送りする

再生中に



お知らせ

- MP3 / WMA / WAV / FLAC ファイルの場合は、早戻し / 早送りの動作中に音が出ません。

フォルダー番号とファイル番号から曲を選ぶ (MP3 / WMA / WAV / FLAC ファイルのみ)

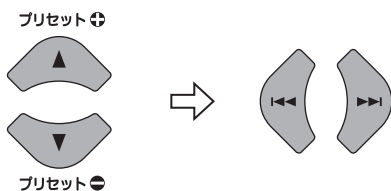
1 フォルダー番号とファイル番号を表示する

フォルダー



- フォルダーモードに切り換わります。

2 フォルダーとファイルを選ぶ



- [▲] / [▼] ボタンでフォルダーを選んでから、[◀◀] / [▶▶] ボタンでファイルを選びます。

3 再生する



プログラム再生をする

CD または USB メモリーの曲を 32 曲までお好みの順で再生します。

1 プログラムモードを表示させる 停止中に

プログラム/メモリー

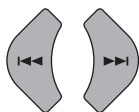


- ・「MEMORY」と表示され、「MEM」アイコンが点滅します。

2 曲を選ぶ

音楽 CD の場合

リモコン



(くり返し押す)

本体

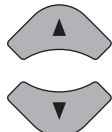


(くり返し押す)

MP3 / WMA / WAV / FLAC ファイルの場合

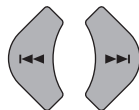
フォルダーとファイルを選ぶ

プリセット \updownarrow



プリセット \ominus

(くり返し押す)



(くり返し押す)

- ・ [▲] / [▼] ボタンでフォルダーを選んでから、[◀◀] / [▶▶] ボタンでファイルを選びます。

3 曲を登録する

プログラム/メモリー



4 手順 2~3 をくり返して、他の曲を登録する

- ・ プログラム再生の登録が 32 曲を超えると、「FULL」と表示されます。

5 再生する

リモコン



本体



- ・ プログラムした順序で曲が再生されます。

お知らせ

- ・ 設定中は「MEM」アイコンが点滅、再生中は「MEM」アイコンが点灯します。

プログラム内容を確認する

プログラム再生停止中に

プログラム/メモリー



(くり返し押す)

登録した曲が順に表示されます。

プログラムに曲を追加する

1 プログラム内容の確認モードを表示させる プログラム再生停止中に

プログラム/メモリー



- ・「MEM」アイコンが点滅します。

2 プログラム追加モードを表示させる

プログラム/メモリー



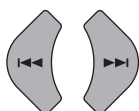
(押し続ける)

- ・プログラムした曲数の次の番号が表示されます
(5曲プログラムした場合は、6曲目の登録画面が表示されます)。

3 曲を選ぶ

音楽 CD の場合

リモコン



(くり返し押す)

本体

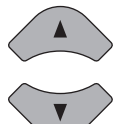


(くり返し押す)

MP3 / WMA / WAV / FLAC ファイルの場合

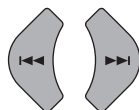
フォルダーとファイルを選ぶ

プリセット ⊕



プリセット ⊖

(くり返し押す)



(くり返し押す)

- ・ [▲] / [▼] ボタンでフォルダーを選んでから、
[◀◀] / [▶▶] ボタンでファイルを選びます。

4 曲を登録する

プログラム/メモリー



- ・プログラムの最後に曲が追加されます。

登録した曲を削除する

プログラム内容確認中に

クリア



表示中の曲が取り消されます。(1曲削除)

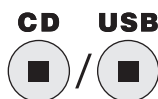
お知らせ

- ・途中の曲を取り消したい場合は、[プログラム/メモリー] ボタンをくり返し押して取り消したい曲の番号を表示させ、[クリア] ボタンを押します。
- ・全曲削除したい場合は、次の「プログラム再生を解除する」をご覧ください。

プログラム再生を解除する

プログラム再生停止中に

リモコン



本体



「Memory Clear」と表示され、全てのプログラムの内容が消去されます。

- ・以下の場合もプログラム内容が消去され、プログラム再生が解除されます。
 - 電源を切る
 - ソース(音源)を変える
 - ソース(音源)が「CD」のときに、CDを取り出す

リピート再生をする

1 リピートの種類を選ぶ 再生中または停止中に

再生モード



(くり返し押す)

- Repeat : 現在の曲をくり返します。
One 設定中は「」アイコンが点灯します。
- Repeat : 現在のフォルダーの曲をくり返します。
Folder* 設定中は「」アイコンが点灯します。
- Repeat All: CD または USB メモリーのすべての曲をくり返します。
設定中は「」アイコンが点灯します。
- Normal : リピート再生を解除します。
*フォルダーモード選択時のみ

2 (停止中のときは)再生する

リモコン



本体



お知らせ

- プログラム再生中に「Memory Repeat」にすると、プログラムをリピート再生します。

リピート再生を解除する

再生中または停止中に

「Normal」を選ぶ

再生モード



(くり返し押す)

- 以下の場合もリピート再生は解除されます。
 - 電源を切る
 - ソース(音源)を変える
 - ソース(音源)が「CD」のときに、CDを取り出す

ランダム再生をする

再生中または停止中に

「Random」を選ぶ

再生モード



(くり返し押す)

- ランダムモードが設定されると「RDM」アイコンが点灯します。
- フォルダーモードのときは、フォルダー内ランダムになります。
- ランダム再生中に「」ボタンを押しても、前の曲に戻ることはできません。
- プログラム再生中はランダム再生はできません。

お知らせ

- 本機がランダム再生を行うのは USB メモリー 1 つあたり最大 1023 ファイルです。最大ファイル数を超えたファイルはランダム再生されません。

ランダム再生を解除する

再生中または停止中に

「Normal」を選ぶ

再生モード



(くり返し押す)

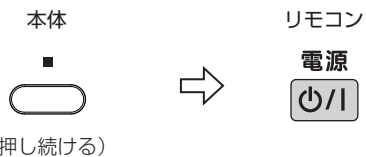
- 以下の場合もランダム再生は解除されます。
 - 電源を切る
 - ソース(音源)を変える
 - ソース(音源)が「CD」のときに、CDを取り出す

CDトレイをロックする

本機に入れたディスクを取り出せないようにロックすることができます。

トレイロックを設定する

電源が入った状態で、本体の[■]ボタンを押したまま、リモコンの[電源]ボタンを押します。



- 「Locked」と表示されます。

トレイロックを解除する

設定時と同じ操作をしてください。

- 「Unlocked」と表示されます。

ラジオを聴く

ラジオを聴く前に、必ずアンテナを接続してください。
(p. 11、12)

放送局を受信する

受信方法は、オートとマニュアルの2種類があります。

1 ソース(音源)を「FM」または「AM」にする

リモコン

TUNER



(くり返し押す)

本体

SOURCE



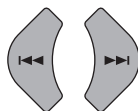
(くり返し押す)

- FM ST(FM ステレオ受信) → FM(FM モノラル受信) → AM の順に切り換わります。
- 受信すると「▶●◀」アイコンが点灯します。
- ステレオ信号を受信すると「ST●」アイコンが点灯します。

2 放送局を選ぶ

オートで選ぶ場合

リモコン



(約2秒間押し続ける)

本体

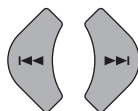


(約2秒間押し続ける)

押し続けると自動的に選局を始め、放送を受信すると停止します。

- 選局中は「▶ ◀」アイコンが点滅します。
- 選局を途中で停止したいときは、もう一度押します。

マニュアルで選ぶ場合



(くり返し押す)

- くり返し押すと、FM では 0.1 MHz ずつ、AM では 9 kHz ずつ受信周波数が変わります。

お知らせ

- FM ステレオ放送が聴きにくいときは、モノラル受信にすると聴きやすくなります。
- モノラル受信では、受信状態は改善されますがステレオ効果は失われます。
- 本機はワイド FM に対応しています。ワイド FM とは、AM の放送対象区域において災害や難聴(都市型難聴、外国波混信、地理的・地形的難聴)対策のために、FM 方式で補完的な放送を行う中継局のことです。放送局や使用周波数、放送開始時期などの詳細は、各ラジオ局のホームページなどをご覧ください。

受信状態を改善する(アンテナ調整)

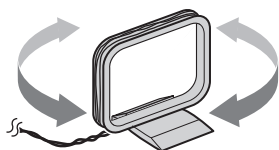
受信状態が良くないときは、放送を聴いて確認しながら、付属の室内アンテナを調整してください。

ご注意

- 集合住宅など鉄骨構造の住宅では、電波が遮られるため、受信状態が悪くなります。放送を良好に受信できない場合は、付属の室内アンテナを窓際に近づけてください。
- 付属の FM 室内アンテナで放送を良好に受信できない場合は、市販の屋外用の FM アンテナの設置をおすすめします。
- AM 放送の受信の妨げになる場合があるため、ループアンテナは電気製品(本機を含む)や、他のケーブルからできるだけ離して設置してください。

AM アンテナを調整する

付属の AM ループアンテナをできるだけ窓の近くに置き、左右に回して、最も受信状態の良い方向に調整します。



AMループアンテナ(付属品)

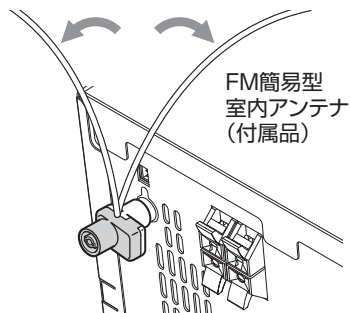
FM アンテナを調整する

付属の FM 室内アンテナを調整し、固定します。

1 FM 放送を聴きながら、FM アンテナの位置を調整する

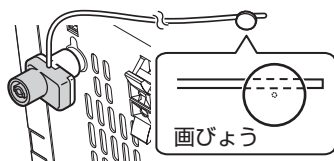
高さや方向を変えて、最も受信状態の良い位置を見つけます。

付属の FM アンテナはできるだけ窓の近くや、屋外に面した壁側に設置することをおすすめします。



2 画びょうやテープなどで、アンテナの先を軽くはさんでとめる

FM簡易型室内アンテナ(付属品)



ご注意

- 画びょうを使うときは、指先などにけがをしないようにご注意ください。
- 付属の FM 室内アンテナが結ばれている場合は、ほどいてまっすぐに伸ばしてください。

放送局を記憶させる(プリセット)

FM および AM の放送局を、あわせて最大 40 局まで記憶させることができます。

- 1 記憶させたい放送局を受信する
- 2 プリセット番号を表示する

プログラム/メモリー



- 「MEM」アイコンとプリセット番号が点滅します。点滅している間に、以下の操作をしてください。

- 3 記憶させたいプリセット番号を選ぶ

プリセット ⬆



プリセット ⬇

(くり返し押す)

- 4 記憶させる

プログラム/メモリー



記憶した放送局を呼び出す

リモコン

プリセット ⬆



プリセット ⬇

(くり返し押す)

本体



(くり返し押す)

お知らせ

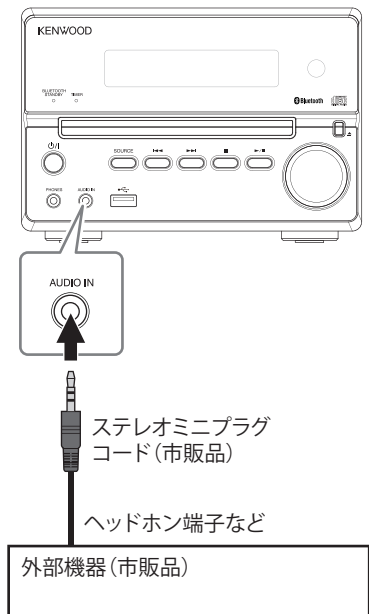
- プリセット番号を消去するには、ソース(音源)を TUNER にして、[クリア] ボタンを押し続けてください。全てのプリセット番号が消去されます。

外部機器を聴く

外部機器を接続する

・お使いの外部機器の取扱説明書もご覧ください。

- 1 本機の音量を最小にする
- 2 AUDIO IN 端子に外部機器を接続する



外部機器を聴く

- 1 ソース(音源)を「AUDIO IN」にする
リモコン 本体

AUDIO IN



SOURCE



(くり返し押す)

- 2 外部機器を再生する
- 3 音量を調整する

タイマーを使う

再生タイマーを設定する

設定した時刻に電源が入り、お好みのソース(音源)を再生する機能です。


再生できるソース(音源)は、「CD」、「USB」、「AUDIO IN」、「TUNER」です。

本機には2種類の再生タイマー機能があります。

Once(1回)タイマー

あらかじめ設定した時刻に一度のみ、お好みのソース(音源)を再生します。「」アイコン表示

Daily(デイリー)タイマー

あらかじめ設定した曜日の同じ時刻にお好みのソース(音源)を再生します。例えば、毎朝の目覚まし時計としてタイマーを設定します。「」アイコン表示

ご注意

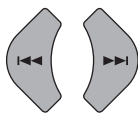
- あらかじめ時計を合わせておいてください。(p. 14)
- あらかじめソース(音源)を準備し、動作することを確かめてください。
- Once タイマーと Daily タイマーを一緒に使用するとき、タイマーの終了時間と開始時間の間隔を1分以上あけて設定してください。

1 再生タイマー設定表示にする

タイマー



2 「Once」または「Daily」を選ぶ



(くり返し押す)

3 手順2と同じ操作で、「Timer Set」を選ぶ

4 手順2と同じ操作で、ソース(音源)を選ぶ

- 「CD」、「USB」、「AUDIO IN」「TUNER」から選びます。
- 「TUNER」の場合は、[◀◀] / [▶▶] ボタンでプリセット番号(放送局)を選んでから、[決定] ボタンを押してください。プリセット番号がない場合は、「No Preset」と表示され、タイマー設定が解除されます。

5 手順2と同じ操作で、曜日を設定する

- Once タイマーの場合は、曜日を選びます。
- Daily タイマーの場合は、開始の曜日と終了の曜日を選びます。
(例) 月曜日から金曜日を設定する場合は、「Mon-Fri」を選びます。

6 手順2と同じ操作で、時間を設定する

- 開始時刻と終了時刻を設定します。

7 手順2と同じ操作で、音量を設定する

- 音量まで設定が終わると、設定した内容がディスプレイに表示されます。

8 電源を切る

リモコン



本体

電源



電源



- 再生タイマーの開始時刻になると、自動的に電源が入り、再生が始まります。
- 再生タイマーは、本機の電源が切れているときのみ作動します。
- 再生タイマーが設定されていて、本機の電源が切れているとき(ノーマルスタンバイ、BLUETOOTH スタンバイ時)は、TIMER インジケーターがオレンジ色に点灯します。
- Once タイマーの作動中は「」アイコンが、Daily タイマーの作動中は「」アイコンが点滅します。
- Once タイマーは設定した曜日に一度のみ、Daily タイマーは設定した曜日に作動します。
- 開始時刻と終了時刻に、同じ時刻を設定することはできません。

お知らせ

- 再生タイマーの動作中もオートパワーセーブ(p. 34)は有効です。
- 再生タイマー作動中は、時計(p. 14)、スリープタイマー(p. 32)、再生タイマー設定が無効になります。時計、スリープタイマー、再生タイマー設定を変更したい場合は、再生タイマーの作動を中止するために電源を切り、もう一度電源を入れて設定してください。

再生タイマーを確認／解除／再設定する

再生タイマーは、設定した内容の確認や解除、再設定などできます。

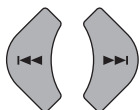
再生タイマーの設定を確認する

1 再生タイマー設定表示にする

タイマー



2 確認したい再生タイマーを選ぶ



(くり返し押す)

3 手順 2 と同じ操作で、「Timer Call」を選ぶ 設定内容が表示されます。

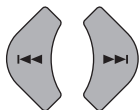
再生タイマーを解除する

1 再生タイマー設定表示にする

タイマー



2 解除したい再生タイマーを選ぶ



(くり返し押す)

3 手順 2 と同じ操作で、「Timer Off」を選ぶ 設定が解除されます。

お知らせ

- ・ Once タイマーは、一度作動すると設定が解除されます。
- ・ Daily タイマーは、設定が解除されるまで続きます。使用しないときは、設定を解除してください。
- ・ 再生タイマー作動中に設定を解除するときは、電源を切ってください。

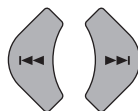
解除した再生タイマーを、内容を変えずに再設定する

1 再生タイマー設定表示にする

タイマー



2 再設定したい再生タイマーを選ぶ



(くり返し押す)

3 手順 2 と同じ操作で、「Timer On」を選ぶ 設定内容が表示されます。

スリープタイマーを設定する

設定した時間が経過すると、自動で電源が切れる機能です。

スリープ

(くり返し押す)

押すたびに電源が切れるまでの時間(単位:分)が次のように切り換わります。

Sleep 90 → Sleep 80 → Sleep 70 → Sleep 60 →

Sleep 50 → Sleep 40 → Sleep 30 → Sleep 20 →

Sleep 10 → Sleep Off → (最初に戻る)

- スリープタイマーが設定されているときは、「SLEEP」アイコンが点灯します。
- スリープタイマーを解除するときは、「Sleep Off」を選んでください。

お知らせ

- スリープタイマーの動作中は、オートパワーセーブ(p. 34)は無効です。

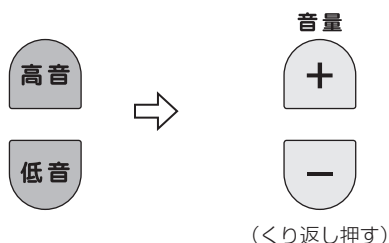
残り時間を確認する

スリープ

残り時間を 5 秒間表示します。

音質や表示の設定を変える

お好みの音質に設定する



高音 (Treble) : [高音] ボタンを押してから、
[+/- (音量)] ボタンで調整する
低音 (Bass) : [低音] ボタンを押してから、
[+/- (音量)] ボタンで調整する

- 調整範囲: -5 ~ +5

お知らせ

- ヘッドホンからの音声にも効果があります。

重低音を強める

重低音



押すたびに、重低音の設定が切り換わります。

お知らせ

- お買い上げ時は、重低音がオンになっています。
- ヘッドホンからの音声にも効果があります。

音質設定をリセットする



高音と低音の設定が0に、重低音の設定がオフになります。

お知らせ

- ヘッドホンからの音声にも効果があります。

表示される情報を変える

表示



(くり返し押す)

押すたびに各種の情報表示に切り換わります。

お知らせ

- ソース(音源)によって、表示される情報は異なります。
- MP3/WMA/WAV/FLAC ファイルの再生中は、表示部にファイル情報が表示されます。
- 表示される文字は半角英数のみです。
- BLUETOOTH では曲名、アーティスト名、アルバム名を切り換えることができます。

その他の情報

オートパワーセーブ(節電機能)について

以下のような状態で約 15 分間何も操作しない場合、本機の電源が自動的に切れます。

ソース(音源)	本機の状態
BLUETOOTH	<ul style="list-style-type: none">• BLUETOOTH 機器を接続していないとき• 音声入力がないとき
CD	<ul style="list-style-type: none">• CD がないとき• 停止状態のとき
USB	<ul style="list-style-type: none">• USB メモリーを接続していないとき• 停止状態のとき
AUDIO IN	<ul style="list-style-type: none">• 音声入力がないとき

お知らせ

- 途中でボタン操作をした場合は、その時点から 15 分間カウントし直します。
- スリープタイマー作動中は、オートパワーセーブは働きません。

使用できる BLUETOOTH 機器

- BLUETOOTH での接続には、BLUETOOTH Ver. 2.1+EDR に対応し、A2DP と AVRCP のプロファイルに対応している必要があります。
- すべての BLUETOOTH 機器再生を保証するものではありません。

再生できる CD とファイル

- CD 規格(CD-DA)に準拠しない CD については、動作や音質を保証できません。CD を再生する際は、「CD ロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD 規格に準拠する CD であることをお確かめください。
- CD の特性・記録状態・傷・汚れ、またはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で再生できないことがあります。
- CD の使用上のご注意をよくお読みください。
- CD テキストの表示には対応しておりません。

CD	下記のマークのある CD を再生することができます。 
ファイル	<ul style="list-style-type: none">• 音楽 CD フォーマットの CD-R/CD-RW• CD-R/CD-RW の MP3/WMA ファイル• USB メモリーの MP3/WMA/WAV/FLAC ファイル

CD-R / CD-RW のご注意

お客様が編集した CD-R/CD-RW は、ファイナライズ処理されている CD に限り本機でお楽しみいただけます。

- レーベル面に印刷可能な CD-R/CD-RW を使用すると、レーベル面が貼り付いてディスクの取出しができないことがあります。本機の故障の原因となるため、このようなディスクは使用しないでください。
- CD-R/CD-RW を作成するときは、フォーマットを「ISO 9660 Level1」にしてください。また、パケットライト方式(UDF フォーマット)は使用しないでください。
- 音楽用の CD フォーマットまたは MP3/WMA ファイル以外で記録したことのある CD-RW は、いったん全曲を消去してください。そのまま使用すると、突然大きな音が出てスピーカーを破損するなどの原因になります。
- MP3/WMA ファイルの入った CD-R/CD-RW は、通常の音楽 CD よりも読み取りに時間がかかります。(フォルダーやファイルの構成により読み取り時間は異なります。)

USB メモリーのご注意

- USB 端子には、USB メモリー以外の機器を接続しないでください。
- USB メモリーの容量は 16GB 以下を推奨します。
- 収録されているファイルが多いほど、本機の読み込み時間が長くなります。
- USB メモリーのセキュリティ機能は、接続する前に解除してください。
- 本機の USB 端子は、パソコンとは接続できません。
- USB メモリーによっては、誤動作する場合があります。このときは、本機の電源を一度切ってから入れ直してください。
- USB ハブは使用しないでください。
- すべての USB メモリーの動作を保証するものではありません。
- USB メモリーが複数のパーティションに分かれている場合は、先頭のパーティションのみ認識します。
- 本機では、ファイルやフォルダーを削除することはできません。
- USB メモリーの取扱説明書もご覧ください。

MP3 / WMA / WAV / FLAC ファイル のご注意

- 再生できる MP3 / WMA / WAV / FLAC ファイルは <.mp3>、<.wma>、<.wav> または <.flac> の拡張子がついているファイルです。(WAV / FLAC は USB のときのみ)
- 本機では、以下のような転送レートとサンプリング周波数で作成されたオーディオまたは MP3 / WMA / WAV / FLAC ファイルを再生できます。

サンプリング周波数

オーディオファイル	サンプリング周波数
MP3	32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz
WMA	32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz
WAV(USB のみ)	32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz / 88.2 kHz / 96 kHz
FLAC(USB のみ)	32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz / 88.2 kHz / 96 kHz

転送レート

オーディオファイル	転送レート
MP3	32 kbps ~ 320 kbps
WMA	64 kbps ~ 160 kbps

量子化ビット数

オーディオファイル	量子化ビット数
WAV(USB のみ)	16 bit, 24 bit
FLAC(USB のみ)	16 bit, 24 bit

- 本機は USB メモリー 1 つあたり最大 999 のフォルダーおよび 65,025 のファイルを認識します。
- 本機は CD1 枚あたり最大 99 のフォルダーおよび 500 のファイルを認識します。1 フォルダー内の最大ファイル数は 99 です。
- DRM(著作権保護)ファイルは「Not Supported」と表示してスキップします。
- VBR ファイルの早送り、早戻しには対応していません。また、正しく再生できない場合があります。
- 1 曲が 2GB 以上のファイルは再生できません。
- 録音状態や記録方法によっては再生できない MP3 / WMA / WAV / FLAC ファイルもあります。その場合、再生できないファイルはスキップされます。
- 最大フォルダー数、最大ファイル数、1 フォルダー内の最大ファイル数を超えたディスクでは認識できない場合があります。
- ファイル名、タグ表示は半角英数字に対応しています。それ以外の文字は「*」に置き換えて表示されます。
- 本機は、ID3 TAG VERSION 2(曲名、アーティスト名、アルバム名)、ファイル名、フォルダー名を表示できます。(ただし半角英数字のみ)
- CD、USB のファイル名/フォルダー名およびタグ表示(タイトル/アルバム/アーティスト名)の最大文字数は 16 文字です。

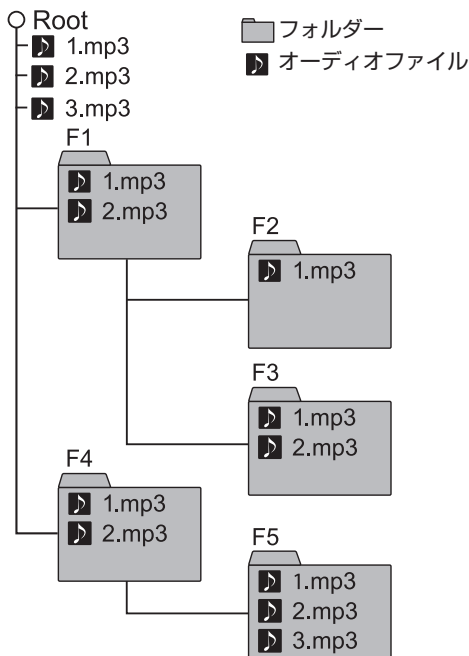
ファイルの再生順について

オーディオファイルは、CD-R/CD-RW や USB メモリーなどの Root(ルート)にあるものから再生されます。

本機がフォルダーやオーディオファイルを再生する順番は以下のとおりです。

実際の再生順は、曲の記録された順番や使用するソフトウェアなどにより異なることがあります。

フォルダー構成例



ファイルの再生順

- 1 曲目 : 1.mp3
- 2 曲目 : 2.mp3
- 3 曲目 : 3.mp3
- 4 曲目 : F1_1.mp3
- 5 曲目 : F1_2.mp3
- 6 曲目 : F2_1.mp3
- 7 曲目 : F3_1.mp3
- 8 曲目 : F3_2.mp3
- 9 曲目 : F4_1.mp3
- 10 曲目 : F4_2.mp3
- 11 曲目 : F5_1.mp3
- 12 曲目 : F5_2.mp3
- 13 曲目 : F5_3.mp3

お手入れについて

CD の取り扱いとお手入れ

ケースから出すとき



ケースに入れるとき



- CD にテープやシールを貼ったり、字を書いたりしないでください。
- CD は曲げないでください
- ハートや花などの形をしたシェイプ CD(特殊形状の CD)は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。
- CD をお手入れするときは、ほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。



必ず内側から外側へ



連続したキスは音飛びの原因となります。

- シンナーやベンジンなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

商標

- AirPlay, iPad, iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod touch, and Retina are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. iPad Air, iPad mini, and Lightning are trademarks of Apple Inc. The trademark "iPhone" is used with a license from Aiphone K.K.
- Microsoft, Windows Media は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc が所有する登録商標であり、株式会社 JVC ケンウッドは、これらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- Android は Google Inc. の商標です。
- N-Mark は米国およびその他の国における NFC Forum, Inc. の商標または登録商標です。
- "ウォークマン"は、ソニー株式会社の登録商標です。
- "おサイフケータイ"は、株式会社 NTT ドコモの登録商標です。

故障かな？と思ったら

問題の多くは、当社ホームページ

<http://www.kenwood.com/jp/>

から最新のFAQ(よくあるご質問)情報をご覧ください。ご解決できます。



カスタマーサポートセンターにご相談になる前にホームページや下記をチェックしてください。

ホームページの内容は予告なく変更になることがあります。

以下の処置をしても正しく動作しないときは本機をリセットしてください。

本機を操作できない、表示部が誤表示されるなどの場合には、次の手順で本機をリセットしてください。

リセットすると、各種の設定内容(放送局プリセット、タイマー設定など)は消去され、お買い上げ時の状態となります。

- 1 ソース(音源)を「AUDIO IN」に切り換える
- 2 本体の[◀◀]ボタンを1回押す
- 3 [■]ボタンを押し続ける
 - ・「RESET」と表示され、自動的に電源が切れます。

共通

電源が入らない。

- 電源コードのプラグがコンセントに正しく接続されているか確認してください。
- 電源コードをコンセントから抜いて、1分程度経ってから差し込みなおしてください。

突然電源が切れてしまう。

- オートパワーセーブ(節電機能)が働いています。(p. 34)
- スピーカーの配線がショートしていないか確認してください。

設定の途中で操作が取り消されてしまう。

- 操作には時間制限があるものがあります。もう一度操作し直してください。

リモコンで操作できない。

- リモコンと本体のリモコン受光部との間が遮られていますか。
- リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。

音声が聴こえない。

- 音量が最小になっていませんか。
- 消音を解除してください。
- ヘッドホンをはずしてください。
- スピーカーが正しく接続されているか確認してください。特に、スピーカーコードを被覆まで差し込んでいないか、確認してください。(p. 10)

BLUETOOTH 機器

BLUETOOTH 機器に接続できない。

- 相手機器側のBLUETOOTH機能がオンになっているか確認してください。
- お使いのBLUETOOTH機器の説明書などで、「A2DP」に対応しているか確認してください。
- NFCでタッチした後に接続が切れる場合は、相手機器側の「Bluetooth」を「オン」にしてください。

本機からBLUETOOTH機器を操作できない。

- お使いのBLUETOOTH機器の説明書などで、「AVRCP」に対応しているか確認してください。

音が途切れる。雑音が入る。

- BLUETOOTHが接続できる距離を超えているか、本機との間に電波に干渉する機器などがある可能性があります。本機に近づけても改善されない場合は、本機の設定場所を変更してみてください。

CD/USB メモリー

再生できない。

- ➔ CD はレーベル面を上にして入れてください。
- ➔ CD またはレンズが汚れていませんか。CD またはレンズを清掃してください。
- ➔ 「[パケットライト方式(UDF フォーマット)]」で録音された CD は再生できません。
- ➔ USB メモリーを正しく接続してください。
- ➔ ソニー製ウォークマンは、USB 接続できません。本機の AUDIO IN 端子に接続してください。(p. 29)
- ➔ パソコンを使って、USB メモリーを FAT32 形式でフォーマットした後、10 曲程度転送して再生できるかお試しください。

MP3/WMA のフォルダーやトラックが意図したように再生できない。

- ➔ 再生順は、フォルダーやトラックを録音した書き込みソフトによります。

CD の音声が途切れる。

- ➔ 汚れや傷のある CD は、清掃するか交換してください。
- ➔ 正しく書き込まれた MP3/WMA ファイルを再生してください。

USB メモリーの音声が途切れる。

- ➔ 本機の電源を切り、USB メモリーを接続し直してください。
- ➔ パソコンを使って、USB メモリーを FAT32 形式でフォーマットした後、MP3/WMA/WAV/FLAC ファイルを転送して再生できるかお試しください。

CD トレイが開かない

- ➔ トレイロックがオンになっています。設定を解除してください。(p. 25)

ラジオ

放送が聴こえない。

- ➔ アンテナを正しく接続してください。(p. 11、12)

雑音が多く放送が聴きづらい。

- ➔ AM アンテナを調節してください。(p. 27)
- ➔ FM アンテナを調節してください。(p. 27)
- ➔ 窓際などで受信できるかお試しください。

外部機器

外部機器の音声が聴こえない。

- ➔ 外部機器を正しく接続してください。(p. 29)
- ➔ ソース(音源)が「AUDIO IN」になっているか確認してください。
- ➔ 外部機器の音量を確認してください。

タイマー

再生タイマーが作動しない。

- ➔ 電源が入っていませんか。再生タイマーを作動させるには、電源を切ってください。

タイマー設定ができない。

- ➔ 時計が設定されていません。先に時計設定をして下さい。(p. 14)

その他

不自然な音になっている。

- ➔ スピーカーの極性(+、-)を間違えて配線すると、楽器などの位置がはっきりしない不自然な音になります。配線を確認してください。(p. 10)

主な仕様

本体(R-XK330)

アンプ部

実用最大出力: 10 W + 10 W (JEITA* 6 Ω)

CD プレーヤー部

読み取り方式: 非接触光学式読み取り (半導体レーザー)

チューナー部

受信周波数: FM: 76.0 MHz - 95.0 MHz

AM: 531 kHz - 1,602 kHz

アンテナ: FM: 75 Ω 不平衡型
AM: ループアンテナ

入出力端子

USB: 出力: DC 5 V  500 mA
仕様: USB2.0 フルスピード
対応機器: USB マスストレージクラスデバイス
ファイルシステム: FAT16 / FAT32

AUDIO IN: ステレオミニ (Ø 3.5 mm) x 1

PHONES: ステレオミニ (Ø 3.5 mm) 16 Ω (推奨 32 Ω) x 1

BLUETOOTH 部

規格: BLUETOOTH Ver. 2.1 + EDR

送信出力: Class 2

最大通信距離: 見通し距離約 10 m
(使用環境によって異なります)

使用周波数帯域: 2.4 GHz 帯

対応 BLUETOOTH
プロファイル: A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)
AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)

対応コーデック: SBC

共通部

電源: AC 100 V、50 Hz / 60 Hz

消費電力: 12 W (定格消費電力)
4.0 W 以下 (BLUETOOTH スタンバイモード時)
0.40 W 以下 (ノーマルスタンバイモード時)

最大外形寸法: 幅 180 mm × 高さ 123 mm × 奥行き 224 mm

質量: 1.8 kg

スピーカー(LS-XK330)

システム:	2ウェイバスレフ型
スピーカーユニット:	ツイーター: 19 mm ドーム型、ウーファー: 80 mm コーン型
インピーダンス:	6 Ω
最大入力:	30 W
最大外形寸法:	幅 102 mm × 高さ 181 mm × 奥行 158 mm
質量(1本あたり):	1.7 kg

*は JEITA(電子情報技術産業協会)の測定法に基づく数値です。
本機は「JIS C61000-3-2 適合品」です。
本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

1. 保証について

- 保証期間—お買い上げの日より1年間です。電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは「無料修理規定」をご覧ください。

2. 修理に関するご相談ならびにご不明な点は

お買い上げの販売店または、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

3. 補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. 修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

5. アフターサービスについて

- 保証期間中は、「無料修理規定」に従って、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドサービス窓口が修理をさせていただきます。修理に際しましては保証書をご提示ください。

- 保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 出張修理、持込修理のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。
- 修理料金の仕組み(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)

- ① 技術料 : 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- ② 部品代 : 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- ③ 出張料 : 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
- ④ 送料 : 郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

- 修理のために本機をお持ち込みになるときは、本体のほかヘッドホンなど付属品も一緒にお持ちください。

6. 保証書は、日本国内においてのみ有効です。

- This warranty is valid only in Japan.

無料修理規定

1. 保証書に呈示の保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドサービスにて無料修理をさせていただきます。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店または、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへご依頼ください。なお、修理に際しては必ず保証書をご提示ください。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理を依頼できない場合には、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。

5. 次の場合には保証期間内でも有料になります。

- ① 保証書のご提示のない場合。
- ② 保証書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、または字句を書き替えられた場合。
- ③ 使用上の誤り、不当な修理、調整、改造による故障及びそれが原因として生じた故障及び損傷。
- ④ 故障の原因が本製品以外の機器にある場合。
- ⑤ お買い上げ後の取付け場所の移動、輸送、落下、冠水などによる故障及び損傷。
- ⑥ 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、鼠害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
- ⑦ 一般家庭以外に使用された場合の故障及び損傷（例えば、業務用の長時間使用、車両<車載用製品を除く>、船舶への搭載等）
- ⑧ 製造番号の改変及び、取り外した製品。
- ⑨ 消耗部品（例えば回転機器のベルト、乾電池、充電電池、イヤークリップ等）の交換。
- ⑩ 持込修理対象品でお客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金。

6. 保証書は、再発行しません。大切に保管してください。

- ・ 修理の内容は修理伝票に記載し、お渡しします。
- ・ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについて、不明の場合はお買い上げの販売店またはカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。
- ・ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは本取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。

JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

- 商品や修理（アフターサービス）に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

フリーダイヤル 0120-2727-87

携帯電話、PHS、IP電話からは 045-450-8950 FAX 045-450-2308

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00

土曜 9:30～12:00、13:00～17:30（日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）

住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

保証書

持込修理用
(日本国内専用)

品名	コンパクトハイファイシステム	型名	XK-330
保証対象	本体	保証期間	(お買い上げ日より) 1年間
※お買い上げ日	年 月 日		
※お客様	お名前	様	
	ご住所		
	電話番号	()	
※販売店	店名		
	住所		
	電話番号	()	

※印欄は必ずご記入ください。

お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、本書記載内容により無料修理させていただきます。

- 修理は、保証書を添えてお買い上げの販売店または、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

KENWOOD

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12